

【エペソ人への手紙 2章】「以前は遠く離れていたあなたがたも、今ではキリスト・イエスの中にあることにより、**キリストの血によって近い者とされたのです。キリストこそ私たちの平和であり、二つのものを一つにし、隔ての壁を打ちこわし**」(エペソ2:13)



TLCCC FRH

天に登録されている長子たちの教会

Church of the Firstborn who are Registered in Heaven

主任牧師:イエス・キリスト

牧師:ダニエル大重

SHILOAM

【シロアム:遣わされた者】

2012.9.2 No.699

今年のみ言葉 歴代誌Ⅱ 20:22

**我らが喜びの声、賛美の声をあげ始めたとき、
主は伏兵を設けて～彼らは打ち負かされた。**

ヨハネ3:34

「神がお遣わしになった方は、神のことばを話される。
神が御霊を無限に与えられるからである。」



ウガンダ(首都 カンパラ)

主の十字架クリスチャンセンター(TLCCC)

The Lord's Cross Christian Center

<http://tlcccfrh.astone-blog.jp/>

み声新聞の7面国際面の「終わりの時代に向かって」を読むと、今がどんなに終わりの時代に近づいているかがよくわかります。マタイ24章にあるしるしは、「戦争のことや、戦争のうわさ、飢饉と地震、、、」とあります。地震洪水に合わせて、今隣国間に残念な問題が発生していますが、いよいよ目を覚まして祈らなければなりません。

エペソ(今でいうトルコの地中海沿いにある港町)には地元の人、ギリシャ人、ユダヤ人と色々な国の人でしたが、その中に救われる人が現れました。ユダヤ人もクリスチャンになりましたが、ユダヤ人はいつも神の選民としてのプライドがありました。エルサレムの神殿には異邦人の庭というのがあって、そこまで異邦人は入れますが、それから先には行くことができません。それが隔ての壁です。人間の世界にはいつもこういった壁があります。国籍、性別、年齢、、、様々な壁が立ちただかかって、一つになることがどんなに難しいかは、私たちの日々の生活の中でも経験していることですね。一方を主張するばかりに相手を受け入れなければ、平和は有り得ません。1プラス1が1になるには、どちらかが0になる必要があります。

イエス・キリストはご自分を無にして私たちに仕えてくださったのです。その身に私たちの自我、偏った主義主張、言い分、欲、、、を全部負われて十字架にかかり、死んで下さったことにより、私たちは生きることができるようになりました。この**キリストの血**により真の神と近いものにされました。**キリストこそ私たちの平和**であり、2つのものを1つにし、隔ての壁を打ち壊し、敵意を廃棄された方です。神から遠く離れていた者にも近くにいた者にも福音を伝えられ両者が一つの御霊である**神の家族**とされました。

永遠に滅びる運命にある私たち、神の怒りを受けて当然な私たちを、大きな愛により、憐れみによって救われました。私たちは神の作品であって、良い行いをするためにキリスト・イエスにあって造りかえられました！神が語られ導かれる働き、み体の一部である自分の役割を捉えてゆきましょう。

明日からウガンダにチームが派遣されます。非常に危険のある国ですが、平和の使者として神の御心を全うできますようにお祈りください。

* 皆様のお手荷物・貴重品等には十分ご注意ください。

教会内での紛失や盗難等については一切責任を負いかねます。